

## 低成長下の社会保障改革（抄録）

日本経済新聞「経済論壇から」2008年7月28日

松井 彰彦（東京大学教授）

一橋大学教授の高山憲之氏（論座 8 月号）は、負担増なしに社会保障給付を現状のまま維持することはできないにもかかわらず、「負担増拒否症候群が日本全体を覆っている」と嘆く。・・・高山氏（論座 8 月号）は専門家や政府の役割として、社会保障財政が赤字であることや負担増なしに社会保障給付を現状のまま維持できないことなどを繰り返し国民に説明することの重要性を強調。「負担増について選択肢を包括的に示し、国民の判断を仰ぐ必要がある」と述べている。